

パーキングエリアの異空間

先日、東北自動車道の羽生PA(パーキングエリア)【上り】に立ち寄った際に遭遇した異空間(写真)に驚きました。

先ず思い出したのが川越の蔵づくりのゾーンですが、川越は車の往来が激しい為、ゆっ



くり見られなかったのですが、こちらはゆっくりと見学出来るなど思ったのが第一印象でした。

東北自動車道のPAとしては、最も南に位置。館林ICから約5.4kmの地点にある。江戸の入口にあたるため、池波正太郎氏の時代小説『鬼平犯科帳』の世界観をモチーフにした「鬼平江戸処」となっているそうです。

日本橋大通りをイメージした町並みや本染めののれんなど、まるで江戸時代にタイムトリップしたかのよ

うな建物が並んでいます。『近江屋(呉服)』、『大野屋』(歌舞伎役者)など、通りからそれぞれ入口は独立していて、入るのに勇気がいるのですが、中は通りに平行した通路になっていて、気軽に全ての店を見ることが出来ます。

食事処や売店では、江戸の味を今に伝えるうなぎ、軍鶏鍋などの老舗のメニューや江戸を感じさせる数々のみやげ品をチェックできたり、ここでしか手に入らない品も多数並んでいますので、機会があれば、お立ち寄りください。

ヨシナカ新聞

11月号

発行所 株式会社ヨシナカ 東京営業所 TEL: 03-3555-0796

好きな食パンの枚数は？

農林水産省の食生活調査によると、朝食で一番食べられているのが食パン。では何枚切りのの食パンが好まれているのかを、アウトドアメディア「TACLE NOTE」を運営する(株)ベストアクティ(宮城県)が、

全国の10代~60代の男女100人に調査をしたところ、ダントツの1位が6枚切り(44人)だったそうです。他のおかずやスープを楽しむのにちょうど良い、トースターで焼き上げた時の歯ごたえが良い、チーズ、目玉焼きやハムを乗せたいので

カロリーが高くないようにのが主な回答だったそうです。ちなみに、2位は5枚切り(25人)、3位(4位と同率)は4枚切りと8枚切りだったそうです。私も6枚切りがメインとなっていますので、この結果にはなんとなく納得です。

兵庫テロワール旅号

デスティネーションキャンペーンの特別企画として運行された団体臨時列車『兵庫テロワール旅号』を大阪工場のMさんが撮影されました。

デスティネーションキャンペーンとは、JRグループ6社と指定された自治体や地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンのことで、1978年(昭和53年)11月から、当時の日本国有鉄道(国鉄)と和歌山県が共同で実施した「きらめく紀州路」がキャンペーンの始まりだそうです。

「兵庫テロワール旅号」は、JR西日本と日本旅行が企画・実施し、日本旅行が販売した旅行商品で、デビュー40周年を迎えた「サロンカーなにわ」

を使用し、ディーゼル機関車DD51形に牽引され、播但線・山陰本線経由で9月28日と29日に姫路~浜坂間を往復しました。往路は姫路から播但線経由で浜坂へ、復路は浜坂から姫路へと向かうルートを辿りました。

写真の表現力が素晴らしいのと、

個人的には海の青さがとても印象に残った写真でした。



オーステンパー

オーステンパーとは、ベイナイト組織(通常の焼き入れ焼き戻し処理で得られる組織よりも延性、衝撃値などが向上し、靱性や耐久性に富んだ組織)を得るための等温焼入れ方法です。

オーステンパー処理は、C(カーボン)が0.6%で板厚2.0mm以下の製品に、

強靱なばね性能を付与する連続熱処理で、無酸素雰囲気炉内でオーステナイト領域(800℃~900℃程度)まで加熱後、等温変態曲線のS字ノーズの下方温度域(300℃~450℃)に恒温保持し、その後冷却することにより、製品にベイナイト組織を付与します。

